

# 土 木 工 事 成 績 評 定 書

工事担当課

技術監理課

起案日 令和 年 月 日

起案日 令和 年 月 日

完了日 令和 年 月 日

完了日 令和 年 月 日

工事担当課										技術監理課					工事担当課					
局長	次長	部長	課長	係長	係	課長	係長	係	局長	次長	部長	課長	係長	係	局長	次長	部長	課長	係長	係
工 事 名										契 約 番 号										
請 負 人										当 初 契 約 金 額										
契 約 日 令和 年 月 日										最 終 契 約 金 額										
当 初 契 約 工 期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日					工 事 日 数					日 完 成 日 令和 年 月 日										
最 終 契 約 工 期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日					遅 延 日 数※8					日 完 成 認 定 日 令和 年 月 日										
現 場 代 理 人 氏 名										主 任 ・ 監 理 技 術 者 氏 名										
評 定 項 目		工 事 監 督 員					工 事 担 当 課 長					検 査 員								
		職 名 氏 名					職 名 氏 名					職 名 氏 名								
項 目	細 別	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e				
1. 施工体制	I. 施工体制一般		+1.5	0	-5.0	-10.0														
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0														
2. 施工状況	I. 施工管理		+3.5	0	-5.0	-10.0						+5.0	+2.5	0	-7.5	-15.0				
	II. 工程管理	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0	+10.0	+5.0	0	-5.0	-10.0									
	III. 安全対策	+2.0	+1.0	0	-5.0	-10.0	+15.0	+7.5	0	-5.0	-10.0									
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0														
3. 出来形 及び 出来映え	I. 出来形		+2.0	0	-2.5	-5.0						+10.0	+5.0	0	-10.0	-20.0				
	II. 品質			0	-2.5	-5.0						+15.0	+7.5	0	-12.5	-25.0				
	III. 出来映え											+5.0	+2.5	0	-5.0					
4. 高度技術	I. 高度技術力 ※2	+ (≤13)		0																
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※2	+ (≤7)		0																
6. 社会性等	I. 地域への貢献等 ※3						+10.0	+5.0	0											
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		十 — 点					十 — 点					十 — 点								
評定点 (65±加減点合計) ※4		① 点					② 点					③ 点								
評定点		④=①×0.4 点					⑤=②×0.2 点					⑥=③×0.4 点								
7. 評定点計		⑦=④+⑤+⑥ 点																		
8. 法令遵守等 ※5							⑧ — 点													
9. 評定点合計 ※6		⑨=⑦-⑧ 点																		
所見 ※7																				

- ※1 評定項目毎の採点は、工事監督員は別紙1～別紙1-6、工事担当課長は別紙2～別紙2-2、検査員は別紙3～別紙3-2-3によるものとし、工事監督員、工事担当課長、検査員の順に記載する。
- ※2 高度技術及び創意工夫の評価は工事全般を通して、特に優れた技術等を評価する項目とする。そのため、キーワードと評価内容の記述方式とし、加点評価のみとする。評価に当たっては、工事担当課長との合議をもって行うものとする。
- ※3 社会性等の評価では地域への貢献度の観点から、加点評価のみとし、工事担当課長が行う。
- ※4 評定点 = 65点 ± 加減点合計 (1～6の評定) 各評定点は四捨五入により小数第1位まで記入する。
- ※5 法令遵守等の評価は、減点評価のみとし、工事担当課長が行う。
- ※6 評定点合計 = 評定点計 - 法令遵守等 評定点合計は、四捨五入により整数とする。
- ※7 所見は必ず記入する。
- ※8 請負人の責めに帰すべき遅延日数を記入する。
- ※9 評定は、該当する加減点を○で囲む。なお、4, 5, 8は具体の点数を記入する。

## 土木工事細目別評定点採点表

工 事 名			
請 負 人			
当初契約日	令和 年 月 日	契 約 番 号	

評定項目	評定項目細別	①工事監督員	②工事担当課長	③検査員	細目別評定点
1.施工体制	I. 施工体制一般	( )×0.4+2.6 点			／ 3.2点
	II. 配置技術者	( )×0.4+2.6 点			／ 3.8点
2.施工状況	I. 施工管理	( )×0.4+2.6 点		( )×0.4+6.5 点	／ 12.5点
	II. 工程管理	( )×0.4+2.6 点	( )×0.2+4.3 点		／ 9.3点
	III. 安全対策	( )×0.4+2.6 点	( )×0.2+4.3 点		／ 10.7点
	IV. 対外関係	( )×0.4+2.6 点			／ 3.4点
3.出来形及び出来映え	I. 出来形	( )×0.4+2.6 点		( )×0.4+6.5 点	／ 13.9点
	II. 品質	( )×0.4+2.6 点		( )×0.4+6.5 点	／ 15.1点
	III. 出来映え			( )×0.4+6.5 点	／ 8.5点
4.高度技術	I. 高度技術力	( )×0.4+2.6 点			／ 7.8点
5.創意工夫	I. 創意工夫	( )×0.4+2.6 点			／ 5.4点
6.社会性等	I. 地域への貢献等		( )×0.2+4.4 点		／ 6.4点
7.法令遵守等			( )×1.0 点		点
評定点合計					／ 100点

※ (①+②+③)=細目別評定点

※ 各評定点は四捨五入により少数第1位まで記入する。

※ 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

様式第6号

## 土木工事成績評定書（通知用）

工 事 名			
請 負 人			
当初契約日	令和 年 月 日	契 約 番 号	
最終契約金額			
最 終 工 期	令和 年 月 日	～	令和 年 月 日
完 成 日	令和 年 月 日	完成認定日	令和 年 月 日
評 定 項 目	細 別	評定点 / 満点	
1. 施工体制	I. 施工体制一般	/	3.2 点
	II. 配置技術者	/	3.8 点
2. 施工状況	I. 施工管理	/	12.5 点
	II. 工程管理	/	9.3 点
	III. 安全対策	/	10.7 点
	IV. 対外関係	/	3.4 点
3. 出来形及び出来映え	I. 出来形	/	13.9 点
	II. 品質	/	15.1 点
	III. 出来映え	/	8.5 点
4. 高度技術(加点のみ)	高度技術	/	7.8 点
5. 創意工夫(加点のみ)	創意工夫	/	5.4 点
6. 社会性等(加点のみ)	地域への貢献等	/	6.4 点
7. 法令遵守等(減点のみ)			点
評 定 点 合 計		/	100 点

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(工事監督員)

評価項目	細 別	a	b	c	d	e
			施工体制が適切である	他の事項に該当しない	施工体制がやや不備である	施工体制が不備である
1. 施工体制	I. 施工体制一般	<p>○ × 対象外 (評価項目)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事カルテの登録は、監督員の確認を受けた上で契約後に行なわれていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度の証紙の購入が適切に行なわれ、配布が受払い簿等により適切に把握されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工体制台帳が現場に備えられていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工体系図が工事関係者が見えやすい場所及び一般が見えやすい場所に掲げられていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 作業分担の範囲が施工体制台帳、施工体系図で確認でき、現場と一致していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、機械配置の施工となっていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 当該下請負者の施工能力は適切であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 理由:</p>				<p><input type="checkbox"/> 施工体制が不備であり、文書により改善指示を行った。</p> <p>上記該当あれば: e</p>
	<p><b>該当数/評価対象項目数 = ( ) / ( ) = ( ) %</b></p> <p>80%以上 : b ※評価対象外の項目は削除し、 60%以上80%未満 : c 削除後の評価項目数を評価対象 60%未満 : d 項目数として計算する。</p>					
	II. 配置技術者等	a	b	c	d	e
	適切に配置されている		ほぼ適切に配置されている	他の事項に該当しない	やや不備である	不備である
		<p>○ × 対象外 (評価項目)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場代理人として、工事全体の把握ができていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督員との連絡調整を適切に行っていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 主任技術者又は、監理技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 下請の施工体制、施工状況を把握し、よく指導していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、指針等を良く理解し、現場に反映して工事を行っていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書の照査が十分で現場との相違があった場合は適切に対応していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 労働安全衛生規則に定める作業主任者を選任し、配慮していた。(労働安全衛生法第14条)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 書類管理、資料整理が適切に行なわれていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 理由:</p>				<p><input type="checkbox"/> 現場代理人等の技術者配置が不備で、文書により改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 専門技術者が配置されていない。</p> <p>1 項目該当: d 2 項目該当: e</p>
		<p><b>該当数/評価対象項目数 = ( ) / ( ) = ( ) %</b></p> <p>90%以上 : a 80%以上90%未満 : b ※評価対象外の項目は削除し、 60%以上80%未満 : c 削除後の評価項目数を評価対象 60%未満 : d 項目数として計算する。</p>				

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(工事監督員)

評価項目	細 別	a	b	c	d	e
			施工計画が適切である	他の事項に該当しない	施工計画がやや不備である	施工計画が不備である
2. 施工状況	I. 施工管理	<p>○ × 対象外 (評価項目)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事請負契約書 19 条第 1 項第 1 号から 5 号に係わる設計図書の照査を行い、工事監督員の確認を受けて施工を行っていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書の内容が、設計図書の内容及び現場条件を反映していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更施工計画書を提出していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理が適時、的確に行なわれていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日常の品質監理が適時、的確に行なわれていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事材料等の使用及び調達計画が適正で、管理されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事材料等の品質保証書等が適切に整理されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事記録写真等が適切に整理されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切にされていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機械、車両等に低騒音、排出ガス対策機械の使用を工事全般で使用していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工区域における交通計画、環境等を配慮していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事目的物の構造物の養生が適切にされていた。(電気・機械工事の場合は、既存施設部分、施工済み部分の養生)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)</p> <p style="text-align: center;"><b>該当数/評価対象項目数 = ( ) / ( ) = ( ) %</b></p> <p style="text-align: center;">80%以上 : b ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。</p> <p style="text-align: center;">60%以上80%未満 : c</p> <p style="text-align: center;">60%未満 : d</p>			<p><input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により改善請求を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 定められた工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、文書により改善指示を行った。</p> <p style="text-align: right;">1 項目でも該当あれば : d 2 項目以上該当 : e</p>	
	II. 工程管理	<p>a 工程管理が適切である</p> <p>b 工程管理がほぼ適切である</p> <p>c 他の事項に該当しない</p> <p>d 工程管理がやや不備である</p> <p>e 工程管理が不備である</p>	<p>○ × 対象外 (評価項目)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工程計画の内容が十分に検討され、充実していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場条件の変更への対応が適切であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地元調整を積極的に行い円滑な工事進捗を行っていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 実施工程表は、工事全般にわたってられ、各工程と全体の整合がとれていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 定められた作業時間以外の作業が少なく、工期内に工事を完成した。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 実施工程表の補足として、月間又は週間工程表を作成し、工程管理に努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 作業時間の変更、休日の施工を行う際は、事前に監督員と協議し承認を得た。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)</p> <p style="text-align: center;"><b>該当数/評価対象項目数 = ( ) / ( ) = ( ) %</b></p> <p style="text-align: center;">90%以上 : a</p> <p style="text-align: center;">80%以上90%未満 : b ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。</p> <p style="text-align: center;">60%以上80%未満 : c</p> <p style="text-align: center;">60%未満 : d</p>			<p><input type="checkbox"/> 請負者の責により工期内に工事を完成させなかった。</p> <p style="text-align: right;">上記該当あれば : e</p> <p><input type="checkbox"/> 自主的な工程管理がなされず、文書により改善指示を行った。</p> <p style="text-align: right;">上記該当あれば : d</p>

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(工事監督員)

評価項目	細 別	a	b	c	d	e					
		適切に行った	ほぼ適切に行った	他の事項に該当しない	やや不備であった	不備であった					
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	<p>○ × 対象外 (評価項目)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事の規模に応じた安全巡視、安全教育、安全点検等の安全活動を実施していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に 是正報告していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んで、結果は良好であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 山留め、仮締切等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 足場や支保工について、組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて 実施されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事現場における保安施設等の整備・設置・管理が的確であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事箇所及びその周辺の地上及び既設構造物、既設配管等に対して、支障をきたさないよう 必要な措置を講じた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 歩行者及び学童に対する安全通路の確保、落下物の防止等の安全措置が的確になされていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場内及び現場周辺の安全措置並びに交通整理員の配置を適切に行っていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事に関する排水処理対策は適切であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに (次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)</p> <p style="text-align: center;"><b>該当数/評価対象項目数 = ( ) / ( ) = ( ) %</b></p> <p style="text-align: center;">90%以上 : a ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目 80%以上90%未満 : b 数を評価対象項目数として計算する。なお、削除 60%以上80%未満 : c 後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評 60%未満 : d 価とする。</p>			<p><input type="checkbox"/> 安全対策等の不備により、重大な災害 を受けた。 上記該当あれば : e</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理または防災 体制が不適切であった。 上記該当あれば : d</p>						
	Ⅳ. 対外関係	<p>a</p> <p>適切に行った</p>			<p>b</p> <p>ほぼ適切に行った</p>		<p>c</p> <p>他の事項に該当しない</p>		<p>d</p> <p>やや不備であった</p>		<p>e</p> <p>不備であった</p>
		<p>○ × 対象外 (評価項目)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公庁等の関係機関と調整し、トラブルの発生がなかった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、地元との適切な折衝及び調整を行い、第三者からの苦情又はトラブルが 少なかった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 苦情に対して的確に対応し、良好な対外関係であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに (次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)</p> <p style="text-align: center;"><b>該当数/評価対象項目数 = ( ) / ( ) = ( ) %</b></p> <p style="text-align: center;">90%以上 : a ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目 80%以上90%未満 : b 数を評価対象項目数として計算する。なお、削除 60%以上80%未満 : c 後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評 60%未満 : d 価とする。</p>			<p><input type="checkbox"/> 関係機関との調整及び地元折衝に関し て、発注者の指示に従わなかったため、 関連工事を含む工事全体の進捗に支障を きたした。 上記該当あれば : e</p> <p><input type="checkbox"/> 請負者の対応による苦情が多かった。ま たは対応が悪くトラブルがあった。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係法令に違反する恐れがあったため、 文書により指示を行った。 上記該当あれば : d</p>						

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事監督員)

評定項目	a	b	c	d	e
3. 出来形 及び 出来映え		出来形が、測定項目、測定基準及び設計値を満足しており、高い精度である。	出来形が、測定項目、測定基準及び設計値を満足している。	□ 出来形が、測定項目、測定基準及び規定値を満足しない。	
細 別 I. 出来形	① 出来形の評定は、工事全般を通したものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び設計値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。			□ 監督員が文書で改善指示を行った。  上記に該当があれば d	□ 工事請負契約書第18条2項に基づき破壊試験を行なった。  上記に該当があれば e
細 別 II. 品質	a	b	c	d	e
			□ 品質関係の試験結果が試験基準を満足している。	□ 品質関係の試験結果が規定値、試験基準を満足せず、品質が劣る。	
	① 品質の評定は、工事全般を通したものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び設計値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。			□ 監督員が文書で改善指示を行った。  上記に該当があれば d	□ 工事請負契約書第18条2項に基づき破壊試験を行なった。  上記に該当があれば e

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事監督員)

評価項目	キーワード一覧	左記チェック項目の具体的事由	点数
4. 高度技術 (土木)  細 別 I. 高度技術 力	<b>■施工規模の大きさへの対応</b> <input type="checkbox"/> 1 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模 <input type="checkbox"/> 2 その他( )	..... ..... .....	点
	<b>■構造物固有の難しさへの対応</b> <input type="checkbox"/> 3 対象構造物の形状の複雑さ(土被り厚等を含む) <input type="checkbox"/> 4 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事 <input type="checkbox"/> 5 その他( )	..... ..... .....	点
	<b>■技術固有の難しさへの対応</b> <input type="checkbox"/> 6 工種及び工法の特異性 <input type="checkbox"/> 7 新工法(機器類含む)及び新材料の適用 <input type="checkbox"/> 8 その他( )	..... ..... .....	点
	<b>■厳しい自然・地盤条件への対応</b> <input type="checkbox"/> 9 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時) <input type="checkbox"/> 10 軟弱地盤、支持地盤の状況 <input type="checkbox"/> 11 河川内、海域・急峻な地盤条件下等及び工事用道路・作業スペース等の制約 <input type="checkbox"/> 12 雨・雪・風・気温・波浪等の影響 <input type="checkbox"/> 13 地すべり等の地質条件、急流河川での水流、動植物等に対する配慮等 <input type="checkbox"/> 14 その他( )	..... ..... ..... ..... .....	点
	<b>■厳しい周辺環境等、社会条件への対応</b> <input type="checkbox"/> 15 地中埋設物等の地中内の作業障害物 <input type="checkbox"/> 16 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物 <input type="checkbox"/> 17 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 18 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> 19 生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペース制約 <input type="checkbox"/> 20 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業 <input type="checkbox"/> 21 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 <input type="checkbox"/> 22 その他( )	..... ..... ..... ..... ..... ..... .....	点
	<b>■施工現場での対応</b> <input type="checkbox"/> 23 災害等での臨機の処置 <input type="checkbox"/> 24 施工状況(条件)の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等 <input type="checkbox"/> 25 その他( )	..... ..... .....	点
	<b>■その他</b> <input type="checkbox"/> 26 その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として評価する必要がある項目	.....	点

※ 高度な技術力は、加点点評価とする。該当キーワード数の数と重みを勘案して評価する。  
 ※ 高度な技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要がある技術の評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。  
 ※ 詳細評価の記述にあたっては、工事担当課長との合議とし、各審査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細な高度な技術力を記述する。  
 ※ 高度技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。  
 ※ 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上又は以下の点数を与えてもよい。なお、加点は+1.3点~0点の範囲とする。

評価項目	点数
	点

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事監督員)

評価項目	技術キーワード一覧表	左記チェック項目の具体的事例	点数	
5. 創意工夫 軽微なもの  細 別 I. 創意工夫	<b>■準備・後片付け関係</b> <input type="checkbox"/> 測量・位置出しにおける工夫 <input type="checkbox"/> その他 ( )	..... ..... .....	点	
	<b>■施工関係</b> <input type="checkbox"/> 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫又は設備据付後の試運転調整の工夫 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫 <input type="checkbox"/> 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 部材・機材等の運搬・吊り方式等を含む施工方法の工夫 <input type="checkbox"/> 設備工事で、加工、組立等の工夫又は、電気工事の配線、配管等での工夫 <input type="checkbox"/> 給排水、衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫 <input type="checkbox"/> 照明・視界確保の工夫 <input type="checkbox"/> 排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫 <input type="checkbox"/> 運搬車輛・施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 支保工、型枠工、足場工及び仮橋、覆工板、山留め等の仮設工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 施工管理及び品質向上等の工夫 <input type="checkbox"/> その他 ( )	..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... .....	点	
	<b>■品質関係</b> <input type="checkbox"/> 集計ソフト等の活用と工夫 <input type="checkbox"/> 土工関係、設備関係、電気関係の工夫 <input type="checkbox"/> コンクリート打設関係の工夫 (材料、打設、養生、出来形、品質等) <input type="checkbox"/> 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫 <input type="checkbox"/> 配筋・溶接作業等に関係する工夫 <input type="checkbox"/> その他 ( )	..... ..... ..... ..... .....	点	
	<b>■安全衛生関係</b> <input type="checkbox"/> 安全仮設備等の工夫 (落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) <input type="checkbox"/> 安全教育、技術向上講習会等、教育・ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 現場事務所、労働者休憩所等の居住空間及び設備等の工夫 <input type="checkbox"/> 有毒ガス・可燃ガスの処理及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 <input type="checkbox"/> 供用中の道路等の事故防止、一般車輛追突時の被害軽減対策及び一般交通確保等のための工夫 <input type="checkbox"/> 作業環境が厳しい現場での環境改善等の工夫 <input type="checkbox"/> ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> その他 ( )	..... ..... ..... ..... ..... ..... ..... .....	点	
	<b>■施工管理関係</b> <input type="checkbox"/> 盛土の締固、場所打ち杭や既成杭の施工高さ等の施工に関する工夫 <input type="checkbox"/> 施工計画書及び写真管理等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 出来形、品質との計測関係等の工夫及び集計、管理図等の工夫 <input type="checkbox"/> CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用 <input type="checkbox"/> その他 ( )	..... ..... ..... .....	点	
※ 創意工夫においては「4・高度技術」の考査項目において評価するほどではないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点・抽出記載する。 ※ 「2・施工状況」「3・出来形及び出来映え」においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため本考査項目でも再評価する。 ※ 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。 ※ キーワードの評価(選定)及び詳細評価は、工事担当課長と合議して記述する。 ※ 「4・高度技術」との二重評価はしない。 ※ 1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。なお、加点は+7点~0点の範囲とする。			評点	点

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(工事担当課長)

評価項目	細 別	a	b	c	d	e
		非常に優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	やや不備である	不備である
2. 施工状況	II. 工程管理	(評価項目) <input type="radio"/> × 対象外 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 災害復旧工事及び施工条件の変更等による工期的な制約がある中で余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地元調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 適切な人員配置と工程管理が行われている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)  ※ 上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e, の評価を行う。				
	III. 安全対策	(評価項目) <input type="radio"/> × 対象外 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全衛生管理活動が活発で他の模範となっている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 安全職場実現への取り組みが地域全体から評価されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)  ※ 上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e, の評価を行う。				

評価項目	細 別	a	b	c	d	e
		非常に優れている	やや優れている	他の事項に該当しない	—	—
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	(評価項目) <input type="radio"/> × 対象外 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 河川、海岸等の環境保全を具体的に実施した。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 周辺地域等の環境保全、貴重種等の動・植物への保護等を具体的に対策した。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 定期的に広報紙や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 災害時等に地域への援助・救援活動に積極的に協力した。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)  ※ 通常はC評価、評価対象項目を総合的に勘案して評価する。				

※ 地域への貢献等とは、工事の施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について、加点評価する。

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事担当課長)

評定項目	法令遵守等の該当項目	
8. 法令遵守等	措置内容	点数
	<input type="checkbox"/> 1. 指名停止 3ヶ月以上	- 20点
	<input type="checkbox"/> 2. 指名停止 2ヶ月以上 3ヶ月未満	- 15点
	<input type="checkbox"/> 3. 指名停止 1ヶ月以上 2ヶ月未満	- 13点
	<input type="checkbox"/> 4. 指名停止 2週間以上 1ヶ月未満	- 10点
	<input type="checkbox"/> 5. 文書注意	- 8点
	<input type="checkbox"/> 6. 口頭注意	- 5点
	<input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分が無かった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）	- 3点
<input type="checkbox"/> 該当項目なし		
<p>① 本評価項目（8. 法令遵守等）で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。</p> <p>② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容（工事名、工期、施工場所等）を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。</p> <p><b>【上記で評価する場合の適応事例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。</li> <li>・ 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。</li> <li>・ 宿舍環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。</li> <li>・ 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。</li> <li>・ 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。</li> <li>・ 建設業法に違反する事実が判明した（例）一括下請け、技術者の専任違反等</li> <li>・ 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。</li> <li>・ 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</li> <li>・ 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。</li> <li>・ 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを、期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。</li> <li>・ 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。</li> <li>・ 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織（団体）」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。</li> <li>・ 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</li> <li>・ 安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。</li> <li>・ 施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督職員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった</li> <li>・ その他 理由：</li> </ul>		

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(検査員)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
		施工管理が優れている	施工管理が適切である	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
2. 施工状況	I. 施工管理	○ × 対象外 (評価項目) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 契約書19条第1項第1号から5号に係わる設計図書の照査を行い、施工がなされていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致していた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が整備されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制が一致していた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 作業分担と責任の範囲が書面で確認できた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事材料の資料の整理及び確認がなされ、管理されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫が見られた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理体制が確立され、有効に機能していた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切になされていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建退共の証紙が適切に配布され管理されていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事の関係書類及び資料整理が適切にされていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事記録写真等の整理に工夫が見られた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 自社の管理基準等が作成され、適切に管理していた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 段階確認が適時、的確に行われていた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)			<input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない部分があり、文書により、補修指示を行った。  <input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、検査員から文書により指示を行った。  上記1項目該当事項があれば：d  2項目該当すれば：e	
		該当数 ( ) / 対象評価項目数 ( ) = ( ) % 90%以上 : a ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。 80%以上90%未満 : b 60%以上80%未満 : c 60%未満 : d				

考査項目	a	b	c	d	e	
	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である	
3. 出来形及 出来映え	○ × 対象外 (評価項目) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形管理図又は出来形管理表が適切にまとめられており、確認できた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で的確に判断できた。			<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば：d		
I. 出来形	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定して、適切に管理していた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形の形状、寸法が設計値(設計図書)を満足していた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 出来形の性能、機能が設計値(設計図書)を満足していた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由)			<input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば：e		
		該当数 ( ) / 対象評価項目数 ( ) = ( ) % 90%以上 : a ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。 80%以上90%未満 : b 60%以上80%未満 : c 60%未満 : d				

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(検査員)

審査項目	a		b		c		d		e					
	品質が適切である		品質がほぼ適切である		他の事項に該当しない		品質がやや不備である		品質が不備である					
3. 出来形及び出来映え	○ × 対象外 (評価項目)													
II. 品質	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	使用材料の品質証明が適切であり、ミルシート等で対象材料の品質が明確に確認できた。				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。  上記該当があれば：d		<input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条2項に基づき破壊検査を行った。  上記該当があれば：e					
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	仕様書等に定められた品質を確保するため、現場に即応した施工及び使用材料の保管等が確認できた。											
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各種試験結果が品質管理基準を満足していた。											
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質向上に対する自主管理がされたいた。											
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質試験は、頻度・項目とも必要数実施されており、結果もその都度整理されていた。											
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	品質管理計画書を作成するとともに品質管理及び記録の整理にも考察を行うなど品質向上に創意工夫が見られた。											
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	工事写真により、品質確認状況等、試験状況等、検査不可視部分についても確認できた。											
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他(理由)											
			該当数 ( ) / 対象評価項目数 ( ) = ( ) %											
			90%以上 : a ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。 80%以上90%未満 : b 60%以上80%未満 : c 60%未満 : d											

審査項目	a		b		c		d		e	
	仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない		仕上げが悪く全体的に美観が悪い		仕上げが悪く全体的に美観が悪い	
3. 出来形及び出来映え	○ × 対象外 (評価対象外 (評価項目))									
III. 出来映え	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	細部まできめ細かな施工がされていた。							
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	端部処理が良かった。							
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	細部まで出来映えに配慮する等の創意工夫が見られた。							
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	仕上げの均一性が良かった。							
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	適切に後片付けが行われ、全体的に美観が良かった。							
		該当数 ( ) / 対象評価項目数 ( ) = ( ) %								
		90%以上 : a ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。 80%以上90%未満 : b 60%以上80%未満 : c 60%未満 : d								

別紙3-2-3 土木（機械・電気） 工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。「評価対象項目」は、○(適切であった)、×(適切でなかった)、対象外の□のいずれかにレマークを記入する。

(検査員)

審査項目	a		b		c		d		e	
	品質が適切である		品質がほぼ適切である		他の事項に該当しない		品質がやや不備である		品質が不備である	
3. 出来形及び出来映え	○ × 対象外 (評価項目)									
II. 品質	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		(機材)				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条2項に基づき破壊検査を行った。	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されていた。							
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されていた。				上記該当があれば：d			
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		(施工)							
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		品質計画による品質管理記録が整備されていた。							
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		施工の品質・形状が適切で良好な施工であった。							
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		施工完了時の試験及び記録が適切であった。							
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		機能の適切性が確認できる、試運転等の記録が整備されていた。								
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		不可視部分の写真記録が適切であった。				上記該当があれば：e				
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		その他(理由)								
該当数 ( ) / 対象評価項目数 ( ) = ( ) % 90%以上 : a ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。 80%以上90%未満 : b 60%以上80%未満 : c 60%未満 : d										

審査項目	a		b		c		d		e	
	仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない		仕上げが悪く全体的に美観が悪い			
3. 出来形及び出来映え	○ × 対象外 (評価項目)									
III. 出来映え	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		(評対象外)				<input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条2項に基づき破壊検査を行った。	
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良かった。							
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		関連工事との調整がなされ、全体に調和が良い仕上げであった。							
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		使用者に対する安全への配慮が適切であった。							
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		設備として高い品質・性能が確保されていた。							
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		運転及び保守点検に対する配慮が適切であった。				上記該当があれば：d		上記該当があれば：e		
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		運転及び保守点検に対する配慮が適切であった。								
該当数 ( ) / 対象評価項目数 ( ) = ( ) % 90%以上 : a ※評価対象外の項目は削除し、削除後の評価項目数を評価対象項目数として計算する。なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、c評価とする。 80%以上90%未満 : b 60%以上80%未満 : c 60%未満 : d										